

【マリ共和国 KIMONO プロジェクト by まりさん】



マリ共和国 KIMONO プロジェクトは、ファウンダー高倉の「名前に“まり”がつく皆様（マリさん、マリコさん、マリオさん、マリエさん、マリアさんなどなど）のご支援で創れないだろうか？」というアイデアと共に2015.12にスタートし、2017.12までにKIMONO（藤娘きぬたや制作）、OBI（おび弘制作）が完成しました。また制作費200万円も、まりさんのみならず幅広くプロジェクトを応援して下さる皆様のご協力を得て無事に完了致しております。ご支援、ご協力くださった皆様には改めて心から感謝申し上げます。

今後は、このKIMONOとOBIがイマジンワールドの1カ国として世界に平和を願う気持ちを伝えると共に、マリ共和国と日本の架け橋となり、両国の友好に役立つ機会を作り、交流を深めていくことができれば嬉しく思います。

【チームマリ協力メンバー】

秋山寿磨子さん
東美和子さん
伊佐治博子さん
市原智子さん
久野尚子さん
斎藤優子さん（東京チーフ）
清水おり恵さん
菅原真由美さん
高野響子さん
玉岡裕美子さん
土部元子さん
古木絢也さん（カメラマン）
山崎真紀先生チーム（着付け）

松田恵美さん
虫鹿典子さん
村上由見子先生チーム（ヘアメイク）
山本さかいさん
横森康伸さん
安藤真理

<スペシャル協力メンバー>

藤娘きぬたや
おび弘
Oussouby Sacko(ウスビ・サコ)京都精華大学学長
Mariam Traoré(マリアム・タラオエシ)さん

マリ共和国 KIMONO プロジェクト

<https://www.facebook.com/malikimonoproject/>

マリ共和国 KIMONO プロジェクト通信

昨年末、マリ共和国 KIMONO プロジェクト主催「IMAGINE ONEWORLD KIMONO PROJECT in 名古屋」には、多くの方々にご来場いただきました。師走のお忙しい時節にもかかわらず、誠にありがとうございました。

5日間の開催期間中のべ 36 カ国分もの KIMONO が展示できたほか、昨年 10 月に行われた「きものサローネ in 日本橋」にて開催された KIMONO ショーの様子を映像でご覧いただきました。マリ共和国をイメージした KIMONO を制作中ですので、一部日程にてマリ共和国出身の京都精華大学ウスビ・サコ教授、制作者である藤娘きぬたや安藤嘉陽氏、ならびにイマジン・ワンワールド代表理事高倉による講演を通じて、理解を深めていただけたことと存じます。

当日アンケートには嬉しいコメントを沢山頂戴し



ました。一部をご紹介することで皆様にも会場の様子を再び味わっていただけますと幸いです。

~~~~

- ・ 伝統技術の素晴らしさ、厳しい現実、世界の国々の文化、本日のイベントのお陰で知ることができました。
- ・ 着物を通して、世界の文化、平和に貢献しようとするこのようなプロジェクトに感銘した。
- ・ 世界の国々の文化や特徴も、日本の伝統も学ぶことができる素敵な展覧会でした。
- ・ 着物に込められた想いが伝わり、個性も輝き、感動しました。
- ・ 実物を見れて良かったです。
- ・ 想像以上に素敵な図案でした。
- ・ 絵画を見ているようで心が豊かになった。
- ・ 制作背景をより多くの人に知ってもらえると良い。
- ・ 作り手様の想い、技術が素晴らしい。
- ・ I enjoyed hearing about the different ways the kimono are made.

<KIMONO 制作秘話について印象的だった点>

- ・ ナイジェリアの部族と同じ数の 254 羽の蝶が描かれている話。

<南アフリカのお着物の重ねローケチ染めの話>

<ウスビ・サコ先生の講演で印象的だった点>

- ・ マリ共和国の方から初めてお話を聞いて大変印象的でした。
- ・ マリのお話すべてが興味深かったです。
- ・ ウスビ・サコ先生も面白かった

<藤娘きぬたや様講演について印象的だった点>

- ・ 疋田絞りの工程のお話
- ・ デザイン、型紙染め、絞りの一連の流れ
- ・ 絞りの技術がすごかった。

~~~~

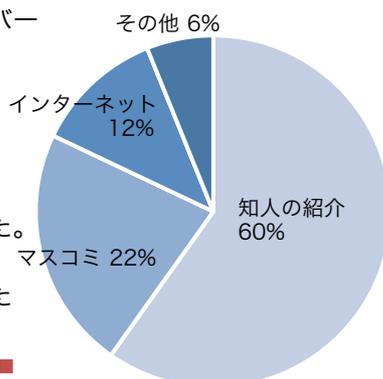
主催している我々もマリ共和国について一層理解と愛着を深めることができ、また藤娘きぬたやの技術の素晴らしさを改めて認識した次第です。今年の夏にはマリ共和国をイメージした振袖が完成します。お披露目の機会を設けることができましたら、改めてお知らせ申し上げます。 ■■■



<来場のきっかけ>

アンケート結果から、来場いただいたきっかけをまとめました。活動を知っていただいている人の輪の広がりを感じ嬉しく思っています。

ご来場者の中には、お子さんがインドの KIMONO を制作した小学生のメンバーだったという親御さん、ブータン人の男性には民族衣装の「呉」を着て再来場いただいたりと、印象深い方々と出会いが沢山ありました。新聞記事を握りしめて遠方から来場いただいた方などにも声をかけていただきました。 ■■■



<お気に入りの KIMONO ベスト10>

当日みなさんのお気に入りベスト3を選んでいただきました。なんと、すべての国に投票がありました！好みの違いはあっても、どれも皆さんの心に印象付ける素晴らしい作品ばかりだったということが分かりました。ほんの一部ではございますがここでベスト5をご紹介します。



1位
パラグアイ



2位
パラオ

3位 フランス



4位 マダガスカル



5位 インド



これらに続いて6位インドネシア、7位アメリカ、オーストリア、9位カナダ、コスタリカとなりました。コメント欄に「どれも素敵で選べません！」「映像で着姿を見ると印象が変わった」というコメントもありました。現在イマジンワンワールドの公式ホームページでは、完成しているすべての KIMONO をご覧いただけます。
<http://piow.chips.jp> (Project というコーナーに掲載されています) 是非あわせてご覧ください。 ■■■

<ご支援を重ねてお願い申し上げます>

マリ共和国 KIMONO プロジェクトでは、マリ共和国をイメージした素晴らしい KIMONO (振袖、帯、小物) を今年の夏までに完成させるために、引き続きみなさまからのご支援をお願いしています。

三井住友銀行 久留米支店 普通 1149463 一般社団法人イマジンワンワールド

上記振込先への寄付金はすべてマリ共和国の KIMONO の制作費およびメンテナンス費などになります。制作された KIMONO は今後マリ共和国との文化交流事業や、国際会議などにて「おもてなし」のツールとして活用されます。また、継承の困難な絞り染め技術を次世代に繋げるよう活用されていく予定です。

寄付いただいた方に会員証をお送りします healing@nifty.com/090-9180-6865 安藤真理までご一報ください。

マリ共和国 KIMONO プロジェクト通信

vol.2

いよいよマリ共和国をイメージした振袖の完成が近づいて参りましたが、帯が一足早く先日納品されました。そこで、マリ共和国 KIMONO プロジェクトを応援いただいているみなさまに一足早くご紹介させていただきたく、「マリ通信第2号」発行と相成りました。

また、お披露目の場も決定しました。10月7日（土）に名古屋で初お披露目（詳細は裏面）、11月23日（祝）に東京で毎年恒例のイマジンワンワールド新作発表会が予定されています。

マリ共和国の OBI 制作秘話



マリ共和国のKIMONOの帯は、京都のおび弘様がつくって下さいました。

マリ人で京都精華大学教授のウスビ・サコ先生にご協力いただき、先生監修のもと、2つのデザインを帯の両面に織り上げる試みとなりました。

片面は吉野間道の機を使いました。吉野間道とは「^{めいぶつぎれ}名物裂」に登場する有名な織紋様のことで、格子と縞の合の子のような組織でかなり特別な織方だそうです。その機を使うことで、細かい民族紋様の表現に挑んでいます。

おび弘様によると、左側のデザイン（写真中央）は「笹のようなもので編み込んだゴザのような柄をモチーフに」右側のデザインは「ドゴン族の泥染めの文様をモチーフに」しているそうです。

「マリ共和国では、大切な儀式は必ず泥染の衣服を身につけます。その文様は、部族によって、また儀式によって全て決まっています、それぞれ異なります。」と、ウスビ・サコ先生。帯のデザインにもマリ共和国の文化が生き活きと描かれているのです。

1日に織り進むのはわずか12cmだそうです。糸が何種類もあり、それを間違えずにすごいスピードで進めていく、その集中力は凄まじいものがありました。柄によって織り組織が違うので調子が狂いやすく、織り方、打ち方、力加減が違うのだそうです。長年の工夫や感触、季節への対応など、アイディアや技がひと織りひと織りに織りこまれています。

KIMONOぶち情報

今回帯を作っていたいただいた「おび弘」様からは、イマジンワンワールドKIMONO PROJECTを通じ「ロシア」「パプアニューギニア」「パナマ」「スロバキア」の4本のOBIが生まれています。どれも手織つづれ本袋の技法を用いて素晴らしい作品を織り上げていただいています。

KIMONO PROJECTでは、代表の高倉が着物の制作者が決まり下絵が出来た段階で、作者の作風などをイメージして帯の制作者を決定します。

今回はプロジェクト初の総絞り、それも藤娘きぬたや様の色彩豊かな振袖に合わせる帯ということで、高倉のような、成人式用のきぬたや様の振袖コーディネートに慣れた者でも、かなり悩んだようです。幾つかの候補からおび弘様に決定しました。

おび弘様の本社は京都・西陣にあります。工房は琵琶湖の北側、滋賀県長浜市の山門湿原の森の中にあります。大がかりな手織りの機（はた）がいくつもあり、伝統の技術が職人さんの間で受け継がれています。facebookの「マリ共和国キモノプロジェクトbyまりさん」では、マリの帯を織っている様子をご覧ください。

(もしくは動画URLはこちら→ <https://goo.gl/DnfWgb>)



パプアニューギニアのOBI

お披露目情報

名古屋駅からあおなみ線で一駅目の「ささしまライブ駅」周辺に誕生する新しいまち「ささしまライブ」のまちびらきイベント「GLOBAL DAYS 2017」が10月7日(土)8日(日)に開催されます。

「国際歓迎・交流の拠点づくり」をメインテーマとした世界を感じる2日間の大きなイベントの一部に、マリ共和国のKIMONOお披露目の場を設けていただきました。

<和 in Zepp>

■日時：10月7日(土) 15:30~ / 18:30~ (予定)

■場所：Zepp 名古屋

伝統芸能のプログラムのオープニングを、マリ共和国をはじめ10カ国のKIMONOが飾ります。イマジンワンワールドのKIMONOの着姿が見られる機会です。

入場無料ではありますが、会場の関係でチケット数に限りがございます。チケットご希望の方はお早めにプロジェクトスタッフへご一報ください。

<展示>

■日時：10月7日(土)・8日(日)

■場所：JICA中部 2階

27カ国のKIMONOを展示いたします。(マリ共和国は8日のみ) JICA中部のスタッフの方々から各国の現地情報も伺える展示方法を検討中です。

■問い合わせ：healing@nifty.com / 090-9180-6865 (安藤)

または、お知り合いのプロジェクトスタッフ(安藤、秋山、東、土部)まで

マリぶち情報

マリ共和国のことが今まで以上に気になる日々ですが、皆さまも同じではないでしょうか？

愛知万博を機に^{じもくじ}甚目寺町(現あま市)はマリ共和国をフレンドシップ相手国として交流事業を開始。つまり今年で10年になる活動を、あま市国際交流協会さんでは続けていらっしやいます。

名古屋を中心に活動をしてきたマリ共和国 KIMONO プロジェクトと縁を感じます。

9月には「世界の音楽とダンスの集い」が予定されています。協会が保有しているマリの太鼓演奏のほか、地元のバリ舞踊グループによる踊りなども楽しめるようです。東海地方にお住いの方は足を運ばれてはいかがでしょうか。

■日時：9月10日(日)

■会場：甚目寺公民館大ホール

■問い合わせ：あま市国際交流協会 大角さん(090-3932-5931)

<編集後記と皆様へのお願い>

現在、皆様からの温かいご寄付により、制作資金は110万円まで集まりました。全国のマリさんをはじめ、マリプロジェクトを応援してくださる方の想いに一同感謝申し上げます。

目標額の200万円まであと少し。重ね重ねのお願いで恐縮ではございますが、日本とマリ共和国との友好関係、日本の伝統技術の発展・継承のためにもぜひとも皆様にはお力をお貸しいただけますようお願いいたします。ご負担になりませんよう一口1000円と致しております。お気持ちに合わせて何口でも結構です。振込用紙や振込口座情報は別紙にて同封させていただきました。ご参照くださいませ。

暑さの厳しい折ではございます。くれぐれもお体にはご自愛ください。

2017年8月吉日
マリ共和国 KIMONO プロジェクトメンバー一同

マリ共和国 KIMONO プロジェクト通信

vol.3

マリ共和国の KIMONO が完成し、名古屋では 10 月 7 日-8 日にささしまライブ地区のまちびらき「GLOBAL DAYS2017」にて、また東京では 11 月 2 4 日に IMAGINE ONEWORLD 主催の KIMONO PARTY にて、お披露目させて頂きましたのでご報告いたします。皆様から賜りました貴重なご支援は 1,994,925 円になりました。藤娘きぬたや様、おび弘様には完成後できるだけ速やかに支払いを済ませております。目標金額まであと一歩ではございましたが、マリ共和国 KIMONO プロジェクトを終了させていただきます。無事に KIMONO が完成いたしましたのも、ひとえに皆様のおかげと心より御礼申し上げます。

ささしまライブまちびらき GLOBAL DAYS 10月7~8日



藤娘きぬたや 安藤嘉陽氏 おび弘 池口寧祥氏 マリアムさん



名古屋駅から一駅のささしまライブ地区にて、全ての施設がオープンするまちびらきという特別なイベント「GLOBAL DAYS」の中のイベントの一つ「和 in ZEPP」にて10か国のショーを、JICAにて30カ国の展示をさせて頂きました。マリ共和国のKIMONOの着物は「藤娘きぬたや」様が、帯は「おび弘」様が創ってくださり、マリ人の留学生マリアムさんに着て頂きました。藤娘きぬたや様が2年の月日をかけてくださった20万粒の絞りの渾身の作品は、ふんわりと優しく、うっとりする着物に仕上がりました。じっくりみると全ての目が整然と揃い、一絞りのミスもない技術の凄さに目を奪われ、一流の着物とはこういうものかとその存在感に圧倒されました。おび弘様の帯は、マリ人のウスビ・サコ先生監修でマリ泥染めボゴランをモチーフとし、とてもマリらしいと高い評価を頂いております。両面表にしてくださいましたのでどちらを出して着付けをするかが難しく、今回は全てが出るように着付けをして頂きました。マリアムさんは、初めて着物を着て人前に出られるにも関わらず、午前中に中京テレビ放送に出演、午後と夜の2回のショーという長い一日のお役目をしっかり果たしてくださいました。また、JICAでは多大なるご協力を得て、2日間の展示をし、JICAに関わる様々な国のお客様に見ていただく事が出来ました。関係者の全ての皆様方には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。心から御礼申し上げます。今後、色々な場所でイベントがあると思いますので、是非一度は実物を近くでじっくりと見て頂きたいと存じます。

IMAGINE ONEWORLD KIMONO PARTY at 日本橋三井ホール



©KIMONO PROJECT KENGO MAEDA



藤娘きぬたや
成瀬敏司 専務取締役



おび弘
池口寧祥 社長



©KIMONO PROJECT Kenya Furuki



マリ共和国臨時代理大使 京都精華大学
カマラ マリエトゥ ジャラ氏 次期学長
ウスビ・サコ氏



ミハウ ソブコヴィアク氏

2017年にイマジン・ワンワールドが制作した12カ国のお披露目パーティーにて、マリ共和国のKIMONOもお披露目致しました。以前からずっと見て頂きたかったマリ共和国の臨時大使様が、マリの民族衣装でご参加くださいました。金の刺繍がたくさん入ったとても豪華で素敵なお召し物で、揃いの帽子もおしゃれでした。各国の文化の素晴らしさを感じました。他のお披露目国は、小学生の皆さんのデザインでエアーズロックやアボリジニを描いた「オーストラリア連邦」、空にランタンを飛ばす行事コムロイとゴールドデンシャワーの花が美しい「タイ王国」、夏と冬それぞれの美しさを表現した「スウェーデン王国」、北斎の波間にバイキング船を描いた「デンマーク王国」、藍染が美しい「キリバス共和国」、マッターホルンの山・時計(帯)の「スイス連邦」、水と氷を描いた「アイスランド共和国」、その他、ミクロネシア、ケニア、シリア、アフガニスタンでした。作家さんの想いが詰まった芸術的な作品ばかりでした。4月末には100カ国のKIMONOが完成予定です。国際親善にお役立て頂き、皆様も「イマジン・ワンワールド」世界は一つという平和のメッセージを伝えて頂ければ嬉しく思います。



＜編集後記と会計報告＞

2017年12月31日現在、皆様から大変貴重な1,994,925円のご支援を頂き、本当にありがとうございました。着物と帯のお代をお支払いし、帯揚げ・帯締め・髪飾り・プロジェクトマーク入りの半襟、肌着から草履まで一式をお仕度し、また今後のお手入れ代、皆様にご覧頂くための活動費などに大切に使用させていただきます。本プロジェクトは終了とし今後はイマジン・ワンワールドに委ねます。改めて皆様から心から感謝申し上げます。

マリ共和国 KIMONO プロジェクト一同 2017年3月 吉日